

(令和2年7月06日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >
(年金受給者のデータ・その1 (就業状況))

昨年の今頃は、年金プラス2,000万円問題が大きな話題となった時期です。少し短絡的な議論であったように感じますが、若い人たちが「貯蓄・投資」を意識する良いきっかけにはなったと思います。何回かに分けて、再度年金受給者のデータをみておきましょう。

短絡的なのは、年金だけでは一カ月当たり5万円不足、65歳定年で95歳まで生きてとして(夫婦で)2,000万円不足の計算と記憶していますが、今回・その1は、年金受給者の就業状況です。

表1-1 性別・本人の年齢階級別・本人の現在の就業状況別 構成割合

性別:男子

| | 合計 | 就業あり | | | | | | 就業なし | 就業不詳 |
|-----------|-------|------|------|------|--------|------|-----|------|------|
| | | 合計 | 常勤 | | アルバイト等 | 自営業 | 不詳 | | |
| | | | 正社員等 | パート | | | | | |
| 合計 | 100.0 | 35.5 | 5.9 | 12.5 | 3.7 | 13.3 | 0.2 | 56.6 | 7.9 |
| 64歳以下 | 100.0 | 70.9 | 18.0 | 33.3 | 5.0 | 14.5 | 0.1 | 24.6 | 4.5 |
| 65~69歳 | 100.0 | 53.2 | 9.6 | 22.1 | 6.0 | 15.5 | 0.1 | 41.6 | 5.2 |
| 70~74歳 | 100.0 | 35.8 | 5.0 | 11.4 | 4.6 | 14.6 | 0.2 | 56.8 | 7.5 |
| 75~79歳 | 100.0 | 22.9 | 2.3 | 4.9 | 2.4 | 13.3 | 0.0 | 68.7 | 8.5 |
| 80~84歳 | 100.0 | 14.0 | 1.4 | 1.3 | 1.0 | 10.0 | 0.3 | 74.4 | 11.6 |
| 85~89歳 | 100.0 | 10.8 | 0.5 | 0.3 | 0.4 | 9.1 | 0.5 | 76.6 | 12.6 |
| 90歳以上 | 100.0 | 5.3 | 0.5 | - | - | 4.3 | 0.5 | 81.3 | 13.5 |
| (再掲)65歳以上 | 100.0 | 32.3 | 4.8 | 10.6 | 3.6 | 13.2 | 0.2 | 59.5 | 8.2 |

出所：年金制度基礎調査(高齢年金受給者実態調査) 調査2017年、2019年10月2日公開。

70歳~74歳は、年金を受給しながらの就業ありは、自営業14.6%を別にすれば、常勤は正社員5.0%、パート11.4%を合わせて16.4%。アルバイト等は4.6%なので計21.0%。

75歳~79歳になると、同様に自営業13.3%を別にすれば、常勤は正社員の2.3%、パートの4.9%を合わせて7.2%。アルバイト等2.4%を加えれば9.6%となっています。

常勤、アルバイト等ともに高齢になるにつれて徐々に就業率は低下していきませんが、何かは別にして、就業していることは確かです。

だからと言って、「年金が少ないから(少なくなるから)年老いても働いてカバーする」との論理にはなりません。また、働く目的・目標も各々様ではありませんが、各世代の現状をデータとして知っておく必要があります。

平均値で語る、条件が異なるものを対象に含める、前提条件の現実離れ…、避けたいものです。